

## 温度安定量子ドットレーザの開発と商用化が IEEE Photonics Society の 2014 Aron Kressel Award を受賞

---

2014年7月4日

このたび、株式会社 QD レーザ（代表取締役社長 菅原充、本社 神奈川県川崎市、以下、QD レーザ）は、IEEE Photonics Society（※）の 2014 Aron Kressel Award を受賞いたしました。

この賞は毎年、光電子デバイス技術への重要な貢献を果たした個人またはグループに与えられるものです。主要なシステムの実用化に向け、多大な影響を与えうるデバイス技術が対象となります。賞の意図は、新しいサービスや機能を生み出すシステムの開発において、その決め手となる部品開発に貢献した先駆者を認定することにあります。

今年は、弊社の温度安定量子ドットレーザの先駆的开发と、商用化による通信システム市場への先駆的な貢献が評価され、受賞の運びとなりました。

量子ドットレーザは東京大学荒川泰彦教授らにより提案された3次元のナノ構造である量子ドットを活性層に用いた半導体レーザで、低しきい値電流、小さな温度依存性、高温動作など多くのユニークな特長を有しています。QD レーザは、富士通と東京大学との産学連携の研究開発成果を基に、高密度・高均一量子ドット技術の開発とレーザの製品化を進め、現在光ファイバ通信の光源として製品出荷を行っております。

今回の受賞は日本人として 2003 年以来 2 回目となります。授賞式は、2014 年 10 月 13 日に米国カリフォルニア州サンディエゴで開催される 2014 年の IEEE Photonics Conference (IPC) にて開催される予定です。QD レーザでは今回の受賞を励みに、お客様のご要望にお応えする新しい半導体レーザの製品開発を継続してまいります。

本賞の詳細や受賞者については、IEEE Photonics Society のウェブサイトをご参照ください。

<http://photonicsociety.org/award-info>

<http://photonicsociety.org/award-winners/Aron%20Kressel%20Award>

本件に関する報道機関、または、お客様からの問い合わせ

株式会社 QD レーザ E-mail: info@qdlaser.com Web site: www.qdlaser.com

※) IEEE : The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.

---

株式会社 QD レーザについて

富士通株式会社と、三井物産グローバル投資株式会社（設立当時：株式会社エム・ヴィー・シー）の出資で 2006 年 4 月に設立されました。株式会社 QD レーザは、10 年以上にわたる富士通研究所と東京大学との産学連携による共同開発を基に、可視光領域から波長 1300nm 帯までの量子ドットレーザをはじめとする高性能の半導体レーザの開発・製造・販売を行います。詳しい情報はホームページ（[www.qdlaser.com](http://www.qdlaser.com)）にてご覧ください。